

八事山文庫

-3010号-

八事山・歳時記

七五三 — 健やかな成長を願って —

今と違って昔は子どもの死亡率がとて高かったと言われます。ですから十五歳を迎える頃までは神仏の子として特に大切にされました。「七五三」の祝いは、子どもの無事な成長を、その節目節目に神仏に感謝し、さらなる身体健全を願う儀礼です。元々は数え年三歳の髪置き、五歳の袴着(初めて袴を着ける、本来は男児の行事)、七歳の帯解きの三種の儀礼が一つになったものようです。今でも三歳七歳が女児、五歳は男児を祝う地方もあります。



旧暦11月15日を七五三の日としたのは、旧暦11月が収穫を祝い、土地の神さまに感謝する月でしたし、15日は鬼宿といひと月で二番良い日であり、必ず満月だったためでもあります。また、中国の影響を受けて奇数は縁起が良いとされたためでもあります。現在では新暦で行い、11月15日以外の土日に寺社参りをする人も多く見られます。興正寺でも、晴着に身を包んだ子ども達がご祈禱を受けて行く姿が見られます。色とりどりの紅葉をその身に写したような子ども達の姿が、境内を華やかに彩る晩秋のひとつとき、ご家族でお出かけください。



「秋の宝物展」 10月30日(火)〜11月2日(金)

興正寺開山天瑞圓照和尚三百年御遠忌記念

ひとりの人物の人生を語る機会とはどんな時があるでしょうか。人生を終え、この世から送られる時にはどんな人もの人生に思いを寄せられるのではないのでしょうか。では、それが何か事を成し遂げた人物であつたならどうでしょう。語るべきことも、残された物も数多くあることでしょうか。

本年は興正寺の開山天瑞圓照大和尚の三百年回忌にあたり、山深く何もなかった八事の地に現在の興正寺の基礎を築き上げ、多くの弟子に戒を授けた人物です。自身にまつわるものはほとんどありません。

ひとりの人物の人生を語る機会とはどんな時があるでしょうか。人生を終え、この世から送られる時にはどんな人もの人生に思いを寄せられるのではないのでしょうか。では、それが何か事を成し遂げた人物であつたならどうでしょう。語るべきことも、残された物も数多くあることでしょうか。

興正寺では、興正寺三百年の歴史をたどると題して、歴代住職とその時々々の出来事を紹介し、多くの方に御覧いただき、十月末からの秋の宝物展では、天瑞和尚にまつわる出来事を中心に展示紹介いたします。ご参拝や境内散策の折に足をのばしてみてください。(川村)



△開山前時本尊



△開山前時如意

行事のご案内

■10月6日(土) 16時〜大日堂広場にて
千燈祭 — 千基の法灯で祈りを捧ぐ —

本山最大の行事「千燈祭」が行われます。これは、明治二十四年に発生した濃尾地震犠牲者の鎮魂供養のために始まったとされ、根本本尊大日如来の宝前に、真言秘奥の柴燈大護摩祈禱を修法し、興正寺の秋の風物詩として定着しています。

当日は山伏の衣装を身に著けた僧侶と共に、色とりどりの衣裳を身にまとったかわいらしい稚児たちが八事の街や境内を練り歩き、祭りに華を添えます。稚児のおちが八事の街や境内を練り歩き、祭りに華を添えます。稚児のおちが八事の街や境内を練り歩き、祭りに華を添えます。稚児のおちが八事の街や境内を練り歩き、祭りに華を添えます。

◆限定特別授与品(納経所にて受け付けております)

- ・願い燈籠 一基 3,000円
- ・願いを記した燈籠にあかりを灯し、祈りを捧げます
- ・供養燈籠 一基 1,000円
- ・先相供養、鎮魂供養の燈籠にあかりを灯し、祈りを捧げます
- ・供養燈籠(特別護摩木・御札(火伏札) 三点 2,000円
- ・護摩木はご自身で護摩壇に投じることが出来ます

■10月6日(土) 15時〜境内参道〜平成大仏前にて
稚児行列

お稚児さんの起源は古く、稚児行列への参加はとも昔重でまれな縁と言われます。御仏にご奉仕し、子供の無事無災や健やかな心の成長、子供の成長に感謝し、これからは無事に育ってくださるよう初心に備えるような気持ちにさせてくれる縁にとりても貴重な機会です。稚児を3度巡らされることはとても尊いことであり、特に幸せになれるとされています。

興正寺では「千燈祭」に際し、お稚児さんの募集をおこなっております。是非、この縁縁に身体健全なお子さまの健やかな成長をご祈願ください。

■10月5日(金)・13日(土) 観音堂にて

観音堂秘仏開扉 開扉法会 9時〜 ※法話は9時30分〜
観音堂の御本尊は、秘仏「正観世音菩薩」です。年に二度、10月5日、13日のみ、開扉を期して直接、御本尊をお参りすることが出来ます。この成、観音堂秘仏開扉にあわせて、特別祈願をお勧めいたします。

◆御開扉特別祈願
時間 10時〜14時
祈禱料 1,000円から(護摩木付)

災害義援金に関するお知らせ

近年、日本各地で起こる自然災害に際し、興正寺では災害義援金の募金箱を設置し、皆さまのご支援の気持ちをお届けしております。

- ◆平成30年7月豪雨(西日本豪雨)
西日本を中心に広範囲で被害を受けました。義援金総額も、1,911円を日本赤十字社を通じお送りいたしました。
- ◆平成30年北海道胆振東部地震
9月6日未明に発生し、北海道全域に被害を及ぼしました。現在復旧作業が急がれています。

◎西山本堂前受付に義援金の募金箱を設置しました
皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

興正寺開山和尚 天瑞圓照 三百回御遠忌

興正寺開山天瑞圓照和尚に寄せて

天瑞圓照和尚の足跡をたどる (10)

豊田 正純

光友公の帰依に始まり、病氣平癒の祈禱、生母追善供養の大日如来造立と尾張藩主との結びつきを深めていったことで、興正寺には歴代藩主とそれに関連する人々から、さまざまな品が寄進された。

なかでも特筆すべきは大般若経六百巻でこれは現在も正月、五月、九月に厳修される法要で用いられている。大般若経六百巻を転読して社会の平和を祈り、併せて私たちの幸福を願う悪事を退散せしめて息災延命を祈願する法要である。

大般若経とは、今から約千三百年の昔、唐の玄奘三蔵が持ち帰ったお経であり、三蔵自ら漢訳したものであります。六百巻、六十億四十万の言葉(漢訳約四百六十万)を一度に読むという大変なことでありますから転読と申しまして、大勢のお坊さんたちによって廻転するように廻りますので大般若すなわち大きな仏さまの智慧の風を吹き起こし、また一切皆空という空の教えによって迷いや悪因縁を除いてしまおうという功德があるとされています。

なぜ、そのような功德があるかと申しますと、このお経はお釈迦さまが二十八年間も、ご自身の胸のなかに持って考え

られ、その後、四方所で十六回も十六善神に守られて、説法会を開いて説かれたお経であるからであります。

さらに、このお経は仏教の根底にある空の思想をくり返し、くり返して説いていまして私たちの無明煩惱、言いかえますと迷いや苦しみを徹底的に無くして真実の自覚を生み出そうとされているのであります。

従って、このお経を読むことは滅罪生善と申しまして、罪科を減して善を生ぜしめること、また多くの仏さま神さまを、ここにお招きして供養することに、神仏の威光がますます輝いて悪魔が逃げ福徳が豊かに集まってくるようになります。

正月、五月、九月共に五日縁日に厳修される大般若転読祈禱会に御参加していただけますようにご案内申し上げます。

合掌



△大般若経(六百巻のうち)

カレンダー連動企画 (10)

【第十回】尾張藩からの寄進の品々 (平成30年10月カレンダーより)

歴代尾張藩主とそれに連なる方々より寄進された品は、今も大切に當山に伝えられています。その中に「枝珊瑚」があります。愛知県に残る最も古い珊瑚は、徳川美術館所蔵「初音の調度」の装飾に用いられている珊瑚と當山の「枝珊瑚」とされています。

サンゴはポリプと呼ばれる構造をもった生物で、それが集まったものが群生サンゴと呼ばれます。そのなかでも造礁性サンゴは美しい海に広がるサンゴ礁を形成します。こうしたサンゴが折れて漂着したり、採取されたものが加工され、宝石サンゴとして用いられました。

宝石サンゴの歴史は古く、ギリシャ神話にも登場し、ローマでは護符として、イタリアでは船乗りの厄除けとして身に着けられたほか、装飾品としての需要も高く特別なものでした。仏教でも七宝のひとつに数えられ、儀式で用いられてきました。

サンゴは成長が遅いことから、大きなものは珍重されました。それを示す資料が當山にも残されています。「枝珊瑚」は尾張徳川家二代藩主光友公より御寄附いただいたもので、大枝十二本、小枝二十五本の立派なものです。天明八年(一七八八年)、八代藩主宗勝公の七男松平弾正大弼(松平勝當)様がこれを御覧になりたいと仰せになった

はじめに
平成三〇年は、興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回御遠忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あつてこの八事の地に「八事山遍照院興正寺」を創建した和尚は、いかなる人物であつたのか。寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介いたします。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

ことから、役所から次のような連絡が入りました。「弾正大弼様が枝珊瑚を御覧になりたいとおっしゃっているが、寺の大切な品を江戸まで持参することは難しいであろう。そこで絵に描いて送ることとする。ついては、役所まで枝珊瑚を持参するように」。これを受けて寺から役所に持参し、絵師が写して十日ほど後に無事お戻しいただいたという事です。

人々を魅了した品はそれを加工したり作り上げた職人の技をも羨しむことができます。秋の宝物展では、天瑞和尚にまつわるそうした品を御覧いただくことが出来ます。

(川村)



△枝珊瑚

豊竹呂昇 — 名古屋生まれのスーパースター —

石碑でめぐろ 歴史浪漫

其の 十六

興正寺大日堂に参詣される方は、日本一の美しい声の女性に見つめられていることをご存知でしょうか。その人の名は豊竹呂昇。大日堂前の善光寺東側中央に興正寺石碑群唯一のブロンズ製レリーフ像の胸が輝いています。

呂昇は、元尾張藩士永田為吉の子として現在の名古屋南区西心4に生まれ、義太夫を五代日竹本士佐太夫に師事。13才で名古屋の寄席に出演のち、大阪に出て竹本呂太夫に師事、18才で大阪一流定座「播磨」に出演して人気急上昇。東京では、1、600席の大劇場「新富座」を満席にするまでになり、娘義太夫を寄席の芸から舞台の芸へ発展させました。その後、有楽座での「名人公」では、一流男性芸人に伍して欠かせない存在となり、時の新聞に「日本一の賛辞を呈すれば事足るべし」と書かれるまでになりました。

大正2年、松竹専属となり、呂昇の義太夫は初めてレコード化され大ヒット。(CDとして残されています。)巡業では、全国どこへ行ってもいつも満席となる大スターでした。

女義太夫を聞いたことがある人は少ないと思います。文楽が義太夫を語る太夫と伴奏の三味線と人形遣いの三位一体で演じられるのに対し、娘義太夫は、娘太夫と三味線で演じられます。娘義太夫は、明治から大正にかけて、この声、この姿に魅せられた若者が「どうする

連」という追っかけが社会現象となるほどの人気でした。墾物イメージの岸信介元首相も「呂昇の美しい声とその人を魅する節回しが娘義太夫に対する私の趣味を間違ったものである」と記しています。松方正義・大倉喜八郎・鳩山春子…などの各界の名士たちも呂昇のファンでした。呂昇は、若者から当時の紳士淑女までを引き付けてやまない力を持っていました。

大正14年、51才で引退。弟子たちによって興正寺に建てられた引退記念碑は、呂昇の希望により名古屋の恩師、「竹本士佐太夫記念碑」の隣に並んでいます。引退時の言葉は「ほんのおばさんで名所めぐりをしたい」でした。

昭和5年、56才でなくなった時、新聞に「義太夫界の神さま」「親しい師匠思いの人だった」などと大きく報じられました。今は、名古屋北区にある光音寺の「永田家累代之墓」に静かに眠っています。



△引退記念碑「豊竹呂昇」

お茶がおしえてくれた しあわせ

竹翠だより

「畳」

竹翠亭の畳が新しくなりました。淡い緑とほのかな蘭草の香り。慣れ親しんできた日本の住まいですが、今では畳の無い住宅が増えてきました。古い絵巻物に見られるように必要ならどこにだけ畳を敷いていた頃、寸法はさほど重要では有りませんでした。敷き詰めようになつてからは京間とよばれる寸法・一間を6尺3寸×3尺1寸5分にしました。また江戸時代、住宅の需要が増え仕事上の計算が楽なように6尺を二間としたので、江戸間の畳は5尺8寸×2尺9寸となりました。

畳の種類を二部紹介すると、経緯織は最も位の高い畳で、皇族の座す厚畳に見られます。お雛さまに見られます。次いで高麗織は、白地に黒く紋を織り出したものを主に言い、位により大紋と小紋を使い分けられます。名古屋城本丸御殿でも見られます。

◎踏込畳 亭主が茶事の際に踏み入る畳
◎道具畳 お茶を点てるための道具を置く畳
◎点前畳 点前をするところ、道具畳と同じ
◎お 畳 寒い時期になるとおを置いてお湯を沸かします。おの部分に欠けているので欠き畳とも。

四帖半の茶室の場合、真ん中の平帖に切られませんが、風切の季節になれば丸畳に替入場所も踏込畳にかわります。
また、寸法を畳の日数で表すのも他にはない特徴です。座った時、畳の縁と縁の間は16日ほど、お菓子を置く時、畳の縁から2目下がつて、点前がはじまり、茶碗と茶器の間は3日ほど、など、そして茶碗は、お茶もなく直接畳に敷かれます。お菓子も畳紙を直接畳に置いて取ります。席に座ると畳はテーブルにもなるのです。ですから茶会の時、寄付で足袋を改めます。

蘭草の別名は「灯心草」。表面はつるつるしていますが、中はふわふわ。畳にはカシヨン性、保温性、調湿性があるので、茶会には座布団や毛氈が無くても座れるし、また、夏の暑さや冬の寒さを和らげてくれます。日本の気候に適合した、人に優しい天然の床材です。

秋の宝物展

開山和尚三百回忌を記念した特別展を開催。今年の興正寺カレンダーに掲載した文物を一同に展示公開いたします。

日時 10月30日(火)～11月2日(金)
10時～16時
※最終日は15時まで

場所 大書院
※入口は竹翠亭

拝観料 五百円(抹茶と季節の和菓子付)

想耕茶席 — SELECT —

趣の異なる複数の席から二席を選んで参加いただけます。

日時 10月17日(水)
10時半～12時 / 14時半～

受付 竹翠亭
会場 書院・想耕庵・カンチン茶屋
茶券 千五百円 ※二席参加

新 杜のコラム

「お寺に満ちる宝」

本尊を拝む人の背を見つづき歩み過ぎ行く吾も云釈す

お寺とは静かなところで、ある意味何もない場所でもあります。ですので、若い人にとつては「何の魅力もない、つまらないところ」と感じるかもしれません。

しかし、何もない静かな場所だからこそ、安心してお越しになられる方もあるのです。喧騒を避け、一人になれる場所。自分自身と、いや、御仏さまと真剣に向き合える場所。順風満帆な人生などあり得ません。多かれ少なかれ人生には試練が訪れ、自分だけでは乗り越えられないと感じた時に、人はお寺に足を運ぶのかもしれない。

そんな万感の想いを胸に秘めた人が、真剣に本堂で合掌し祈っておられる。そのような姿に触れた時には、思わず敬意を払わずにはおられません。拝む人の後ろを横切る時には、自分自身の在り方も改めずにはおれないものなのです。

長崎県の五島列島に小値賀島という小さな島があります。これといった観光

名所もなく、溢れる自然と海に囲まれた島ですが、しかし反対に、島全体が「上質の旅」を味わえる観光資源なのです。島に残る古民家を借りて島に暮らす島民のように過ごしたり、民泊して島の家族の手料理をご馳走になったり。島民の温かいおもてなしの心と豊かな自然で、ゆったりとした時間を過ごせる、知る人ぞ知る島。興味の無い人には何の魅力も感じられなくても、その真価を知る人には大いに満たされる場所。

小値賀島のように、お寺という場所も、そういう場所なのかもしれません。何もないけど豊かなところ。真心からの祈りであれば、必ずや御仏さまに届きます。その時、静けさの中から御仏さまの御心が、御声が伝わってくる...

弘法大師さまの御言葉をお借りするならば、「虚しく往き、満ちて帰る」ところこそお寺なのかもしれません。誰もが「お寺に満ちる宝」をお持ち帰り頂けるように、誠心誠意を込めてお寺を守ってゆきたいと思えます。

樹田 英伸

興正寺さんぽへ出かけましょう!

興正寺の境内をご案内♪
八事山文庫を持って、興正寺を歩いてみませんか?
いつもと違った発見があるかもしれません!



興正寺さんぽ⑦ どれで上がろう?

東山へ行くには3つのルートがあります。興正寺自慢のエスカレーター、風情ある古びた石段、綺麗に整備された階段の3つです。元々古い石段は、上がりきった所にある古いお堂の参道であり、今はもう無いですがかつては念仏堂などいくつか御堂があったと言われています。このてっぺんのお堂が「能満堂(12)」です。秘仏虚空蔵さまと地藏さま、そして大黒さまのトリオで私達に智慧と福徳を授けてくださいます。この虚空蔵さまは「智慧もらい、智慧守り」の仏さまで、子供からお年寄りまで幅広い年代の方々が参拝されますが、如何せんこの御堂も石段も古くて年配者には危ない...ということで、整備されたのが一番南側にある、一段上がるごとに「厄を落とせる」ありがたい階段です。ちょうど良いところに踊り場があってひと息つけますし、綺麗な観音さまも見守ってくれます。できたら、何段有るか数えてみてください。さて、エスカレーターは、「ここまでで疲れちゃったわ...」の方のため。遠慮なく風景を楽しみながらお使いください。上りの眺めはちょっとわくわく気分になりますよ。春や夏がお薦めです。また、どの

道を使おうと、上がりきったらウッドデッキから後ろを振り返り向いてください。興正寺で一番眺めが良いところで、一番カッコいい五重塔が見られます。四季折々美しいですが、特にお薦めは晩秋の黄昏時です。(井上)



飼い主さんの心に寄り添う 動物葬儀を興正寺で続けていきたい。

名古屋ペットモーティシャン

みずの まさと
水野 雅友 さん

Profile

保健所に勤務していたお父様が、殺処分されていく動物たちの為に何かしてあげたいと、昭和46年に動物葬儀専門の事業をスタート。現在、二代目として事業を担っている。



人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫
地域版

興正寺の本堂には、動物供養のための祭壇があり、外には動物慰霊碑が設けられている。興正寺では、人の供養だけでなく、家族として共に暮らした大切なペットの供養も行われているのだ。今回は、飼い主さんと興正寺を結び動物葬儀をされている、名古屋ペットモーティシヤンの水野さんにお話を伺った。



昭和46年。犬や猫がまだ番犬やネズミなどの害獣駆除といった目的で飼われていることが多かった時代。保健所に勤務していた水野さんのお父様が、事務的に殺処分されていく動物達の姿に胸を痛め、丁寧に送り出してあげたいという思いから動物葬儀専門の事業を始められたのだそう。当時は今のような愛玩動物として動物を飼うという概念があまり定着しておらず、埋める場所もたくさんあったので、月に1〜2件程度しか葬儀依頼はありませんでした。それが、時代と共に動物がペットとして家族の一員として大切にされるようになり、人と同じように供養を希望される飼い主さんが増え、現在では1日平均2〜3件ほどの依頼があります。と、水野さん。興正寺で供養を行うようになったのは昭和57年から。依頼数が増え、それまでは対応が難しくなったため、興正寺さんに動物供養をしてもらえないかとお願ひしたところ快く引き受けてくださり、それからずっと興正寺さんで供養していただい

います。」ということだった。

「実は、父からこの仕事を引き継いだ当初は、マルチーズを飼っていたんですがペットをなくした経験はなく、情性でやっていたようなところがあつたんです。しかし、自分が飼っていたマルチーズをなくしたこと、「ああ、こういう気持ちだったんだ。」と初めて飼い主さんの気持ちをちゃんと理解することができました。そこからはい主さんの心に寄り添うことを大切にしながら仕事をしています。」と、水野さんは言う。

「最近では若い世代の飼い主の方も多く、供養やお参りがよくわからないという声も聞かれます。そういった方々に、興正寺での供養やお参りのことなどを丁寧に説明するようにしています。それもあつてか、供養のために興正寺を訪れた飼い主の方は、「こんな立派なお寺でやってもらえるんだ」と驚かれるのと同時に、とても安心してくださいます。また、興正寺さんでは事前に予約を入れていただくもお経をあげてくださるので、近くに寄ったついでにお参りに、といつこともでき、喜ばれています。興正寺さんにご協力いただきながら、飼い主さんの心に寄り添った動物葬儀を今後も大切に続けていきたいです。」と、水野さんは語った。毎年10月に行われる年に一度の合同慰霊祭には、たくさんの方がお参りに訪れる。これも、水野さんの飼い主さんの心に寄り添う気持ちが伝わっているからではないだろうか。



本堂の右側には、ペットの過去帳が納められ、供養のための祭壇がある。



本堂の外には、いつでもお参りしていただけるよう動物慰霊碑も。



年に一度行われる合同慰霊祭には、たくさんの方がお参りに訪れる。

お坊さんダイレクト・出張版 仏事のお悩み相談室

仏事の疑問に僧侶がホンネで答える「お坊さんダイレクト」の出張版！皆様のひと言お悩み相談に、僧侶・樹田英伸さんがお答えいたします。



びんみちちゃん

Q 知恵の御利益の仏さまは普通は文殊さまだと思っていたけど、どうして興正寺では虚空蔵菩薩なのですか？

A

確かに三人智れば文殊の知恵のことわざもある通り、知恵で有名なのは文殊菩薩さまです。興正寺にも文殊菩薩さまはお祀りされていて、西山本堂正面向かつて右側の弘法大師さまの脇におられ、興正寺千支通り印年守り本尊でもあります。もつとひとりの知恵の菩薩さまがあられて、阿弥陀仏の脇の勢至菩薩さま。こちらのほうは、普賢殿ロビーに観音菩薩さまと並んでお祀りされています。懸念にお話しすると、文殊菩薩さまは煩惱を断つ切剣を持っておられ、この優れた刃が知恵だそう。開運いを見抜き、切りさばく正しさの知恵なので、勢至菩薩さまの知恵は、物事の見方をくるとつとつくり返すこと、ありのままの尊さに気づく「悟りの知恵」。そして興正寺の合格祈願の本尊、虚空蔵菩薩さまはありとあらゆる出来事の記憶とつながる「不可思議な知恵」。かの弘法大師さまのお悟りも、この虚空蔵菩薩さまの御修行の賜物だといわれています。



英伸さん

お気軽に「仏事のお悩み相談」をお寄せください。仏壇がご用意いたします。お電話にて必要事項を明記の上、左記宛先までお送りください。

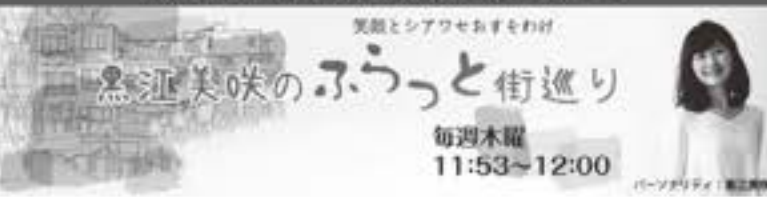
【必要事項(お電話にて記入ください)】

- ・ひと言相談(40文字まで)
- ・お名前
- ・年齢
- ・性別
- ・ご住所
- ・お電話番号

【お電話以外には掲載いたしません】

〒466-10825
愛知県名古屋市昭和区八事本町7-8
八事山 興正寺 普賢殿内
八事山文庫「仏事のお悩み相談室」係

「もっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた
八事山興正寺の提供のラジオ番組です



知ってるお店が登場するかも?! @FM80.7

8月23日 放送 **洋食工房バセリ**
名古屋市天白区塩釜口2丁目1501 フェイムズ1F TEL:052-834-9022
【営業時間】昼11:30~14:00 夜17:00~22:00
【定休日】土曜

豚と鶏が中心で、L/M/SサイズとあるがSサイズでも通常サイズというボリューム満点のメニューが並んでいます。カウンターに並ぶ調味料で自分好みに楽しめるのも魅力ですが、店主が最先で見たレタな品が並ぶこともある。Twitterでの最新情報も要チェックです。

8月30日 放送 **東京油そば本舗 名古屋総本店**
名古屋市天白区塩釜口2-906 TEL:052-837-5577
【営業時間】11:00~23:00
【定休日】なし

油と醤油のかえしのみ。シンプルだからこそ食材にこだわっている。トッピングも多種あるのでお好みでどうぞ。冷やしタンタン麺やねばねば油そばなど、珍しいメニューもあります。地元の学生さんが多く利用してくれることから、予約もありません。

9月6日 放送 **屋台やてっちゃん(鉄板居酒屋)**
名古屋市天白区塩釜口2丁目908番地1F TEL:052-848-8910
【営業時間】月~土16:00~25:00 日・祝16:00~24:00
【定休日】なし

人気一押しは「てっちゃんの焼きギョーザ」。特製の皮を使用しており、パリッ、モチッとした食感にこだわっています。焼きのほかに茹でギョーザ、揚げギョーザもあり種類豊富で、周からチャレンジしていく人も!!また、毎時00分はキキソバタイム。焼きたてを楽しまることができます。

9月13日 放送 **ブラッスリークー(フレンチ)**
名古屋市天白区元八事4-108 アーバン塩釜 1F TEL:050-5593-0695
【営業時間】昼11:30~14:30(L.O.13:30) 夜18:00~22:30(L.O.21:30)
【定休日】火曜・第3月曜

カジュアルな店内はとて居心地が良く、オーナーの「もっと気軽にフレンチを楽しんでもらいたい」という思いが表れています。食材は安心・安全・滋味あふれる季節のものを中心に、女性に人気の季節野菜の具だくさん農園サラダなどが、誕生日や結婚記念日に利用する常連さん多いとのこと。

9月20日 放送 **Live Bar&Music Studio DREAM WORLD**
名古屋市天白区塩釜口2丁目1501 フェイムズ2F TEL:052-838-9191
【営業時間】スタジオ9:00~23:00 Barお問合せください
【定休日】木曜

オーナー自身もドラムを弾くことから、音楽を愛する人が集う。ジャンルを問わず、予約でも席が込みでも演奏できるのも魅力。練習スタジオも完備しており、駅から近いこともあり、学生さんの利用が増えている。練習するだけでなく披露する場を作ることで、輪を広げたいと「楽屋ライブフェスティバル」も開催する。

こちらからもお聞きいただけます <http://fma.co.jp/1/prg/machimeguri/>



9月の台風で折れた木

八事のお山の

昨日

今日

あした

深まる秋の風にホッとさせる思いです。天災と呼べるこの夏の暑さ。お山の被害も甚大でした。アジサイやシャクナゲなど、まともに日差しを浴びた葉っぱはほとんどが焼け焦げたようになりました。サツキなども茶色い塊と化してしまい、近くで見るとそれは痛々しい姿。沈丁花も、この夏は2本も枯れてしまいました。そんな中、皆さまからの献木や、栗、柿など多くの植栽がある里山に、新たに水やり装置をつくってみました。ポンプやタイマーを使い、ピンポイントで必要な量が給水できるように工夫。文字通りの焼け石に水だったかもしれませ

が、里山の植物を少しでも助けたいと思つての事です。少々見た目が悪いかもしれませんが、散策の方、どうかご容赦を。大きな台風もあつたので、実り具合はどうでしょう?また、御寄付によるメダカが仲間入りしたり、マンサクの若木を植えたりしました。気が早いかも知れませんが、春が楽しみです。目立たないですが、八事の命は様々な形で受け継がれています。この秋、新たな命に歓迎の意を込めて、恵み深い八事のお山を歩いて見ませんか。そこかしこで辛い時期を乗り越えた命の、喜びの歌が聞こえてきますよ。

(井上)

「じもポン(地元応援クーポン)」が使える加盟店さんをご紹介します!

地元応援クーポン

じもポン

を使ってみよう!

第7回



味噌系込みそば

じもポン(地元応援クーポン)とは、八事・秋中・塩釜口エリアの提携店舗で使用できる興正寺発行の地域振興券です。(本券は、興正寺のさまざまな行事等で発見しております)

地下鉄八事日赤駅1番出口から徒歩5分、メロンスパゲティや小倉抹茶スパゲティなど変わり種メニューや嵐が多いことで有名。500円で食べられるカレーや丼ものなど、お得なランチがあります。これからの季節にはアツアツの「味噌煮込みそば」(800円)もおすすです。

マウンテン

名古屋市昭和区滝川町石坂47-86

TEL:052-832-0897

営業時間/9:00~21:30(LO 21:00)

定休日:月曜日(祝日の場合は翌平日に繰り越し)

お知らせ 掲示板



甘味・食事処 **八琴庵**

10月 季節のそば

観月そば

5・13・21日限定



秋の食材きのこ月に見立てた里芋を柔らかく団子にした手作り鶏団子とともに盛り付けました。葵の御紋(輪三つ葉)を添えた「観月そば」を召し上がってみてください。

10月定休日:10/9(火)・11月定休日:11/6(火)

営業時間:10:00~16:00(L.O.15:30)

定休日:毎月5日を過ぎた火曜日

こよみよみ

十月・神無月
神々をまつる「神の月」
新穀で酒を醸す「醸成月」

十月八日 寒露
夜が長くなり、露がためたく感じられる頃。朝夕の冷え込みが始まるが、空気は湿み秋晴れの日は多くなる。

十月二十三日 霜降
朝夕の冷え込みが強まり、霜が降り始める所も。霜は霜へと変わり、段々と冬が近づいてくる。

10月

八事今昔物語り くそこにお寺のある暮らし 14

寺で一番大事な物は何でしょう。仏さまやお堂やいろいろな意見がありますが、ここはきつぱり「歴史」と言います。何年建立とか、年表にできる歴史も大切ですが、それだけではありません。興正寺の五重塔は1808年に完成、3月24日に宝塔大供養を4日間に行ったと記録されています。これは興正寺の大切な歴史です。塔自体は当時の尾張城下の哲さんが、少しずつ寄進して下さったお金を10年ほどかけて集めて作ったとされています。(当時尾張藩はすでに財政ピンチ、援助は不可という「歴史」が残っています)

「住まいが遠くなつてからは、半年に一度くらいで興正寺に来ています。昔と比べ、境内の様子は変わりましたが、明るくて良い雰囲気ですね。」と、川地さん。

「満開の桜の下、完成したばかりの塔の姿が尾張城下の人々の目に映る。浄土のように映ったでしょう。旧暦3月24日は新暦で4月19日頃です。当日の境内は桜が散華のようには舞い、春の花々と若葉が塔を彩っていたでしょう。そして、これも歴史です。この世の浄土を願って、名も無い人々が少しずつ作り上げた五重塔。今から半世紀ほど前、とあるいたずら坊主がこの塔の屋根にボールをぶつけてしまい、取れなくなり、「アレは何?」と思われた参拝者もおられたでしょう。仏さまが失礼なヤツだとボールを取り

上げられたのでしょうか。それとも元気が何より、と苦笑いと共に見守られたのでしょうか。ボールは建立二百年までそのままだったので、件のいたずら坊主はどう感じていたでしょうね。完成までの年月とその後の年月、この塔のように刻まれた二つの思いこそが一番大切な歴史であり、現在でも刻まれているのです。お寺とは、その地をめぐる人々の二つの思いが、歴史として積み重なる場所であり、今を生きる私達が次の歴史を作っていることを実感できる場所なのです。(井上)

今月の興正寺サン



長久手在住 川地さん

仕事がお休みだったので、興正寺へお参りに訪れたという川地さん。現在は長久手在住の川地さんだが、以前は名古屋市内に住んでいて、緑日で興正寺に初めて



昭和区在住 川辺みづるさん

雨上がりの濡れた雰囲気を撮影しようと境内を散策していた、川辺さん。朝日カルチャーセンターで、カメラ講座の講師もされているプロカメラマンだ。

季節を感じ、素材や手仕事に親しみ、感性に触れる丁寧な時間を。子どもたちと楽しむ寺子屋で、いつも目指していることです。

夏休みも終わりを告げる頃、夏の寺子屋くらぶを開催しました。昨年に引き続き、江戸時代から絞りによって繁栄した有松に伝わる雪花絞りの技法で手ぬぐいを染めました。

晒し布を手に感触を確かめたら、それをきちんと折りたたむ。四角や三角の板で挟んでゴムで締める。出来上がりを想像しながら染液に浸す場所を決めて、慎重に染料に浸す。夢中になって、発見して、工夫して、一人一人の中のみずすくなエネルギーで会場が包まれました。

いよいよ締められた板を外し、布を水にはなつと藍色が生まれます。白地に咲いた藍の花模様はみんな違って、それぞれの手が生み出したもの。自分の染め出した手ぬぐいをいとおしそうに眺める子供達は、作る喜びを感じてくれたようです。

「日本の夏の色で遊ぶ」

夏の子ども寺子屋くらぶ

興正寺のまなびの講座紹介

遊翠の心教室

「きもの装い入門・応用」

普段にきものを着てみたい、お稽古やお茶会にきもので出かけた、そんな声にお応えして、茶室 竹翠亭の職員が手ほどき致します。

初めてきものに袖を通す方、着られるけど自信がない、お寺のお茶室で過ごす時間が好き、そのような皆さまにお越し頂いております。

まなびの気持ち高まる四月開講、季節を巡り翌年三月まで、月一回計12回の講座です。ゆつたりしたお稽古ですが、きもの着方に加え、和の文化についてもお伝えできたらと思っております。

さあ、きものが着られました。お茶の時間です。毎回きもの姿で茶室の室礼を交わしながら、季節の和菓子とお抹茶で一服。皆さまの笑顔こぼれる時間でもあります。ご参加お待ちしております。

- ◆開催日時/ 入門 第1水曜日 10時~12時 応用 第1水曜日 13時~15時 第4金曜日 10時~12時
- ◆場所/ 普門園大書院
- ◆支具料/ 1回2,000円 ※3か月分ずつ前納・星茶付
- ◆持ち物/ 着物・着付け小物一式 ※お申込みの際、詳細をご案内します
- ◆定員/ 12名
- ※行事など、日時を変更する場合がございます

廃材利用のお知らせ

本山では枯木や災害による倒木などを、様々な形で再利用しております。木材置き場を作って、貸借、利用しておりますが、本山にご縁のある皆さまの中で、ぜひ使ってみて欲しいというご希望がありましたらお分けいたします。薪ストーブなどにも十分使えます。興味のある方は、ぜひご相談ください。

電話/052(832)2801 担当:井上

編集後記

秋の便りに見られる一文に「天高く馬肥ゆる秋」があります。これは「秋は空気が澄み、空も高く感じられる。そして馬も肥える収穫の季節である」の意で、秋が好時節であるといっています。今年の夏は記録的な猛暑日と台風が重なり、農業にも大きな影響がでたようです。収穫の秋、得られたものにあらためて感謝をしたいと思います。



△あざやかな藍染めの手拭

興正寺行事カレンダー

10月

普門圓拝観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00
休園日(休業日) 1日(月)、7日(日)、10日(水)、13日(土)、14日(日)
19日(金)、20日(土)、27日(土)、28日(日)

月	火	水	木	金	土	日
1 大安	2 赤口 ★永代供養受付定休日	3 先勝 ▽遊翠の心 きもの装い 初級 10:00 応用 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	4 友引	5 先負 ◎大陸求明王 縁日 露店アリ 10:00 千支成満巡り ◎観音堂秘仏開扉 9:00 開扉法会 10:00~14:00 特別祈願 観音堂 大陸求明王	6 仏滅 ◎千燈祭 稚児行列 15:00 稚児お練り 16:00 薬燈大通摩祈禱	7 大安 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘
8 赤口 寒露 体育の日 ◎大日如来縁日 理趣分経祈禱 12:30 大日堂 大日如来	9 先負 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良 ★八尋庵定休日 ★永代供養受付定休日	10 仏滅 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	11 大安 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田英伸	12 赤口	13 先勝 ◎虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 千支成満巡り ◎観音堂秘仏開扉 9:00 開扉法会 10:00~14:00 特別祈願 観音堂 虚空蔵菩薩	14 友引
15 先負 ◎東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり 阿弥陀如来	16 仏滅 ★永代供養受付定休日	17 大安 ☆想耕茶会 10:30 12:00 14:30 一席 1,500円 要予約	18 赤口 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸 ◎親世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 親世音菩薩	19 先勝	20 友引 ☆港やすらぎ学舎 13:15 南陽交流プラザ(港区) ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦宣秀 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	21 先負 戌の日 ◎弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ◎月並御影供 14:00 西山本堂 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ☆マルシェ茶席 10:30~13:00 竹翠亭 弘法大師 興正寺マルシェ
22 仏滅 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	23 大安 霜降 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山海良 ★永代供養受付定休日	24 赤口 ◎地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり/紙芝居 地藏菩薩	25 先勝 ▽遊翠の心 茶の扉 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄	26 友引 ▽遊翠の心 きもの装い 応用 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 先負	28 仏滅 ◎不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 不動明王
29 大安	30 赤口 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀 ☆秋の宝物展 (拝観時間) 10時~16時 ※11/2は15時で終了 ★永代供養受付定休日	31 先勝	1 友引	2 先負	3 仏滅	4 大安

※阿字観(杉浦宣弘師)/御詠歌上級講座(鈴村隆弘師)/御詠歌初級講座(鈴村智弘師)の開講日程については、担当僧侶に直接お問い合わせください。(電話問い合わせ不可)

2018年10月~2019年2月

合格祈願

虚空蔵菩薩

智慧や知識、記憶の御利益をもたらすことで篤く信仰される虚空蔵菩薩。積み重ねた努力に、仏の智慧をいただき合格の祈願をいたします。

祈願料 五千元より

受付は電話または来寺(納経所)にて TEL.052-832-2801 (代表・8時~17時)